

一人一人の生きる力を高め、進路保障を図るとともに、豊かな人権感覚を育てる

「一人一人」をかけがえのない  
「一人」として尊重する  
(人権を通じての教育の保障)

豊かな人権感覚を育てる  
(人権についての教育の保障)

○一人一人の置かれている状況から  
出発する。

- ・一人一人がかけがえのない存在として大切にされ、個性・能力の違いを認め合い、心の居場所のある学級づくり。
- ・一人一人が教育実践の出発点である。
- ・一人一人が自己の素晴らしさを実感できる機会を大切にする。

○全教育活動を通して、全ての人々を  
かけがえのない人として受け入れる  
豊かな人権感覚を育てる。

○あらゆる人権問題に対して積極的に  
向かい合いその解決の方法を探究で  
きる豊かな人権感覚を  
育てる。

目指す子ども像

考えながら聴く子  
自信をもって話す子  
みんなのために頑張る子  
進んであいさつをする子  
いのちを大切にする子

○ 生きる力を高める

- ・「ふれあいの日」のふりかえりを大切に、発達段階に応じて子ども自らが「今の自分」をみつめ「なりたい自分」を意識できるようにする。
- ・人間としての生きる力、自らの進路を切り拓き、生き方を探究する力を保障する。

○ 学ぶ力を十分に引き出し、学びに向かう積極的な姿勢を育てる。

- ・単元を通して大切にしたい四つの姿(意欲・方法・出会い・波及)を位置づける。
- ・励まし育てるとともに、指導すべきことは指導しきる。
- ・個に応じた指導の徹底を図る。
- ・専科制・少人数指導を活用する。
- ・指導に生かす学習評価の充実を図る。
- ・家庭学習の定着と充実(家庭との連携)を図る。

○ 進路の保障を図る

- ・学力定着調査等、様々な調査結果の分析を活用し、個に応じた指導の徹底を通して「確かな学力」を保障する。
- ・指導案を伴う授業の公開をおこない、一人一人の子どもたちに届く授業であったのかを振り返る。
- ・研究プロジェクト(研究P・学習環境P・児童理解P)の充実を通して、より確かな校内研究に取り組み、授業力を高める。
- ・各学年で、基礎的・基本的な学習を徹底して指導する。

子どもたちの主体的な  
学びを目指して

生きる力を高め、進路を保障する(人権としての教育の保障)

子どもたちが明日の登校を待ち望む学校、働きがいのある学校、  
市民ぐるみ・地域ぐるみの教育を推進する学校